

令和2年度 事業報告

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

特定非営利活動法人メロディハウス

I. 障害福祉サービス事業

1. 開園の状況

(1) 開園日

・ハーモニー（生活介護）	270日
・ひまわり（児童発達支援事業）	241日
（放課後等デイサービス事業）	290日

(2) 休園日

・ハーモニー（生活介護）	日曜日・祝日
（4月、5月はコロナ感染対策の為、1週間の利用日数を制限）	
・ひまわり（児童発達支援事業）	土曜日・日曜日・祝日
（放課後等デイサービス事業）	日曜日・祝日
・日中一時支援事業	日曜日・祝日
お盆休み	8月13日～8月16日
年末年始休み	12月29日～1月3日

(3) 開園時間

・ハーモニー（生活介護）	9:00～16:00
・ひまわり（児童発達支援事業）	9:30～17:30
（放課後等デイサービス事業）	
月曜日～金曜日（放課後）	11:00～18:00
土曜日及び長期休暇	9:00～17:00

○ 放課後等デイサービスは、新型コロナウイルス感染防止対策のため小学校が4/6～6/5臨時休業、特別支援学校が4/6～6/19臨時休業・分散登校となり、長時間開設日（土曜日は除く）とした

・日中一時支援	月曜日～金曜日	9:00～19:30
	土曜日及び長期休暇	9:00～17:00

2. 活動内容

(1) ハーモニー（生活介護）

令和2年度は、コロナ感染症対策のため、4月、5月は、1日の利用人数や活動を制限させていただいての実施となった。また、外出や外食を伴う行事やレクリエーションは見合わせ、感染症対策をしながら、小グループの屋内や園庭で短い時間でのレクリエーションを取り入れながら、普段の活動とのメリハリをつけ楽しみを提供した。

活動班としては、屋内外の作業を中心とするグループと、個別学習や体力作りを中心とするグループにわかれた。

作業活動については、作業を中心とするグループは、屋外作業として、春のタケノコの出荷から始まり、季節の野菜作りを行い、その竹林や畑、園庭の整備を行った。また、竹箒を作成する業者の依頼で竹を切り出し運ぶなどの作業も行った。

た。屋内作業としては、雑誌の付録の袋詰めを主に行い、座金の組立なども行った。個別学習や体力作りを中心とするグループでは、それぞれ本人のペースに合わせ、日課の中でADLや体力の維持・向上を目指したプログラムを行った。また、作業として、毎日草花にお水をかけることや、ビニールはがし、ペーパーログ作成を行い、責任感や達成感を持てるように働きかけた。

全員に個別課題の時間を設け、目標や計画に合わせたそれぞれの課題に取り組んだ。また、制作では、アイロンビーズやグラスコードなど作成し、お手紙による販売も行った。

令和2年度は音楽教室やお茶教室はこれまでより小人数、感染症対策を行った上での実施としたが、クラブ活動は中止とさせていただいた。

体力や健康維持・増進のため、それぞれのグループで身体を動かすことを意識して行い、また、看護師による体重や血圧のチェックを行いアドバイスいただいた。さらに希望により保護者と看護師との面談も行った。コロナ禍のため、医師との健康診断はZOOMで行った。

石岡特別支援学校の生徒の卒業後の参考として、現場実習の受け入れをした。

(2) ひまわり

ア. 児童発達支援（未就学児）

①音楽療育 通年（※4月～6月は緊急事態宣言下であったため中止）

お子様の発達段階や特性に応じたグループを設定し、その中で一人一人の課題やニーズに合わせた関わりのもと、ことばやコミュニケーション、集団生活スキルについて主に支援をした。感染症対策として、参加児童及び保護者へのマスクの着用、手洗い、手指消毒、検温、居室の空調管理、毎使用後の備品の消毒、活動内容の一部制限などを行った。

②個別療育 通年

一人一人の発達特性に合わせた活動のもと、言葉や数の理解、生活動作や行動など、就学に向けた基礎的なスキルが高まるよう支援した。活動内容の報告のほか、必要に応じて家族からの相談に応じ、お子さまの特性について理解が深まるよう助言した。感染症対策として、検温、手指の消毒、マスクの着用、空調管理、使用備品の消毒などを徹底した。

③小集団療育 通年（※5月は緊急事態宣言下であったため中止）

年長児を対象に、就学に向けた基礎的な生活動作のスキルについて支援した。また、保護者に対して就学についての相談や助言を行った。移行支援シートを作成し、それぞれの就学先に申し送りをした。音楽療育同様の感染症対策以外に、活動時間を短縮する対応をした。

④その他

家族支援として、保護者の不安や困り感に寄り添った対応を心がけ、保健センターなどの関係機関と連携しながら、安心して子育てができるよう支援した。

地域支援については、コロナ禍の対応として各就園先訪問は控え、必要に応じて情報共有シートを作成し、就学先や医療機関に支援の状況を伝達した。移行支援シートを作成して各就学先に申し送りした。

イ. 放課後等デイサービス（学齢期）

新型コロナウイルス感染防止対策の為、学校が臨時休業となり、活動内容も変更して行うこととなった。

長期休暇に実施している体験学習の外出訓練、おやつ作り等の活動は実施することができなかった。

通常の学習支援、集団活動におけるコミュニケーションの習得の他に、学校の臨時休業日には散歩や戸外遊びをとりいれて身体を動かしたり、室内でたのしめるレクリエーション活動、絵本や紙芝居の読み聞かせ、季節に合わせた制作活動などを行った。音楽療法士による音楽活動は参加人数を通常の半分にし内容を変更し隔週で行った。使用楽器、道具などを消毒しながら活動を行った。

また、臨時休業日の際は、自宅で取り組めるプリントの提供、手先のトレーニングなどの助言、利用者や家族の様子、保護者の困り感や不安感を聞くなどの在宅支援を行った。

関係機関との連携については、電話にて連絡を取り合い共通理解を図り、支援の方向性を確認した。

(3) 日中一時支援事業

家族の就労支援等を目的として、利用者の日中及びサービス提供時間外の活動の場所を確保した

3. 利用人数（各サービスの延べ利用人数は別紙のとおり）

在籍利用者数（令和3年3月現在）	ハーモニー	20名
	児童発達支援	48名
	放課後等デイサービス	34名

II. 児童クラブ（放課後児童健全育成事業）（かすみがうら市補助事業）

1. 開園の状況

- (1) 開園日
- | | |
|--------|------|
| 児童クラブ1 | 279日 |
| 児童クラブ2 | 250日 |
- 土曜日は利用人数が少ないため、1クラブの開園とした
- (2) 休園日
- 日曜日・祭日
- お盆休暇 8月13日～8月16日
- 年末年始休暇 12月29日～1月3日
- (3) 臨時休園 令和2年5月2日(土)・5月9日(土) 利用希望児0の為休園
- (4) 臨時開園 なし
- (5) 開園時間
- | | |
|-------|--------------------|
| 学校登校日 | 下校時より午後7時30分まで |
| 土曜日 | 午前8時より午後5時まで |
| 学校休日 | 午前7時30分より午後7時30分まで |
- (6) コロナ感染拡大特別措置により4月6日から6月5日までの40日間（土曜日を除く）及び10月12日・13日の2日（下稲吉小学校臨時休校）、合計42日間長時間開設

2. 活動概要

メロディハウス児童クラブは、保護者が就労などにより昼間家庭にいない児童を対象に、安全、安心な放課後の居場所を提供しつつ、地域及び関係機関との連携を図りながら、学習支援や異年齢児との交流活動、自然とのふれあいなどを通し豊かな心をはぐくむことを目的として活動している。

学習については、一日の中で学習の時間を設け、学校の宿題やその他教材を用いて自主的・計画的に取り組んでいる。

本年度はコロナウィルス感染拡大防止のため、事業所全体で取り組む「メロディまつり」を中止せざるを得なくなり、例年子どもたちが自主企画している創作ダンスや

音楽発表などを行うことはできなかった。また、月に1度行っていた茶道教室も実施できなかった。

また、コロナ感染拡大特別措置により4月6日から6月5日までの40日間（土曜日を除く）及び10月12日・13日の2日（下稲吉小学校臨時休校）、合計42日間長時間開設した。

3. 活動内容

- 4月 散歩（天の川、兵隊橋付近）（4/2）
製作活動（くねくね貯金箱）（4/3）
4/9～5/20 コロナウィルスのため小学校臨時休業
製作活動（ダックスフント）（4/10）
- 5月 分散登校（5/21～6/5）
- 6月 小学校通常日課（6/8～）
ひまわり種蒔き（6/18）
- 7月 七夕飾り
かすみがうら市によりオゾン発生装置設置（7/15）
- 8月 避難訓練（火災想定）（8/20）
- 10月 児童クラブ新築工事に伴い仮設プレハブでの活動開始（10/15）
- 12月 クリスマス会（12/25）
- 3月 児童クラブ竣工引渡、使用を開始（3/15～）
卒業を祝う会（3/24）

- 毎月 スタッフ会議
放課後等デイサービス（障害児部門）との合同会議（12月～）

4. 研修参加

コロナ感染拡大の為参加の機会がなかった

5. 月別初日在籍児童数および月別開設日数 *（）内数字は障がい児童数

メロディハウス児童クラブ1

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年生	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
2年生	3(1)	3(1)	3(1)	3(1)	3(1)	3(1)	3(1)	3(1)	3(1)	3(1)	3(1)	3(1)
3年生	5(1)	5(1)	5(1)	5(1)	5(1)	5(1)	5(1)	5(1)	5(1)	5(1)	5(1)	5(1)
4年生	6(3)	6(3)	6(3)	6(3)	6(3)	6(3)	6(3)	6(3)	6(3)	6(3)	6(3)	6(3)
5年生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6年生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	20(5)	20(5)	20(5)	20(5)	20(5)	20(5)	20(5)	20(5)	20(5)	20(5)	20(5)	20(5)

メロディハウス児童クラブ2

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年生	0	0	0	1(1)	1(1)	1(1)	1(1)	1(1)	1(1)	1(1)	1(1)	1(1)
2年生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

3年生	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
4年生	1	2	1	2	1	2	2	2	2	2	2	2
5年生	4	4	4	4	4	5(1)	5(1)	5(1)	5(1)	5(1)	5(1)	5(1)
6年生	5(1)	5(1)	5(1)	5(1)	5(1)	6(1)	6(1)	6(1)	6(1)	6(1)	6(1)	6(1)
合計	10(1)	11(1)	10(1)	12(2)	12(2)	14(3)	14(3)	14(3)	14(3)	14(3)	14(3)	14(3)

令和2年度開設日数 年間開設日 児童クラブ1 279日 児童クラブ2 250日

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
クラブ1	21日	18日	24日	25日	22日	24日	27日	23日	24日	23日	22日	26日
クラブ2	25日	21日	24日	21日	18日	20日	22日	19日	20日	19日	18日	23日

Ⅲ. 生活困窮者学習・生活支援事業（かすみがうら市受託事業）

1. 実施日・実施時間及び実施回数

毎週土曜日 13:00～16:00

年間 37回 実施

- コロナウィルス感染対策の為4月4日～6月6日まで休講とした
- また9月5日は下稲吉中学校体育祭のため、11月28日は下稲吉中学校でコロナウィルス感染者が出たため休講とした

2. 活動内容

対象者

生活保護世帯及び準要保護世帯の中学第1学年から第3学年までの生徒
事業利用者の募集は例年、前年からの継続希望者に合わせて、準要保護世帯決定後新規募集を行っていたが、今年度は学校の始業が遅れたことによる決定の遅れ、また、コロナ対策のためのスペース確保から、新規の募集は行わなかった。
昨年からの継続希望者8名及びその兄弟1名の計9名

① 学習支援

○学習支援を行うことにより「自立」と「学習機会の保証」

基礎的・基本的な学力の定着を図り、主体的に学習に取り組む姿勢を身に付け、学習意欲及び学力の向上を目指した。

・個別カリキュラムを作成し、学習の習熟状況に応じて学習支援をし、教科書中心の学習をした

・学校での学習の補習＝学校での教材・教科書を中心にワーク、問題集を準備した

・高校受験への対策＝個別指導による苦手科目支援、また、3学期には県立高校入試過去問題集を中心に行った

・基礎学力の習得＝基礎学力が身につけていない生徒に対して教室開設時以外に電話による相談支援を行った。

② 生活支援

○学習支援による学力・成績、高校進学にとどまらず以下の生活支援を行った。

「生活習慣・育成環境改善に関する助言」

「進路選択その他教育に関する相談」

・日常生活の相談・支援や居場所としての役割も果たせるよう、生徒の話し相手となり、家庭、学校とは違う大人と話す機会をとらえ、子どもの声に耳を傾けるようにした

- ・遠方かつ保護者が送迎できない生徒の送迎を実施し、利用生徒が通いやすい環境を作った

④新型コロナウイルス感染予防及び拡散防止の取組

- ・来所時の体調確認と検温、アルコール消毒
- ・手洗いと咳エチケットを徹底させ、マスク着用
- ・居室等のこまめな換気、消毒の実施
- ・空気清浄機、パーテーションの設置
- ・学習時間は机を向かい合わせにならないように配置

3. 利用生徒数

実利用人数	9名
延べ利用人数	203名

IV. 保護者対象・事業所内 研修

コロナウイルス感染対策の為、実施なし

V. 児童クラブ建替え事業

・建替えの経緯

老朽化の進んだ児童クラブ室（プレハブ）1・2は、雨漏りや冷暖房効率の悪さがあり、水回りの設備をもたないため障害福祉サービスを行っている建物の洗面所とトイレを共用していた。令和元年度6月にかすみがうら市大塚児童館に建て替えについて相談した。それから協議を重ね、令和2年6月には子ども・子育て支援整備交付金整備計画協議書等を提出。令和2年8月7日、整備交付金の内示を得た。9月8日、入札公告（郵便入札）をし、9月28日メロディハウスにて入札を実施、請負業者を決定した（(株)千和）。10月8日工事請負契約を取り交わし、10月9日から着工となった。10月13日仮設プレハブ1棟を設置し、利用児童は仮設プレハブ及び障害福祉サービスを行っている居室2室に分かれ活動した。令和3年3月10日に消防及び建物完了検査を経て3月15日建物引き渡しとなった。

・建物の概要

木造平屋建て	延床面積	109.30㎡
児童クラブ1	占有面積	36.41㎡
児童クラブ2	占有面積	36.21㎡
共有部分	面積	36.68㎡

・歳入歳出 決算書

(歳入)		(歳出)	
国庫補助額	6,643,000円	工事費	26,664,483円
茨城県補助額	6,643,000円	工事事務費	1,100,000円
かすみがうら市補助額	6,643,000円	解体撤去・仮設施設整備費	2,815,517円
自己資金	10,651,000円		
歳入合計	30,580,000円	歳出合計	30,580,000円

VI. 事業所内における事故・ヒヤリハット・苦情・相談等の件数報告

毎月の部門長会議において各部門において報告書を作成、情報共有

重大事故	1件	ケーキについていた紙の飾りを誤って飲み込む。翌日、医療機関を受診。後遺症なし。
事故	8件	ケガ4件 ・作業中のケガ（小指）・散歩中の転倒（膝擦過傷） ・療育中転倒（唇から出血）・療育中イスから転落（唇出血） 服薬忘れ1件 ・昼食後の服薬を忘れる 器物破損1件 ・玄関ドアのガラス破損 他害1件 ・突然頭を後方にふり後ろにいた職員の眉間と衝突 （医療機関受診も異常なし） その他1件 ・他の児童クラブ児童とのトラブル（背中を蹴る）
ヒヤリハット	55件	活動中の転倒や軽微なケガ 自傷・他害 虫よけスプレーによるかゆみ等
苦情・相談	2件	

令和2年度は病院を受診する事故が1件発生。
同様の事故やヒヤリハットが繰り返されないよう、再発防止に努めてまいります。

Ⅶ.その他

1. 理事会・総会

4月	臨時理事会（書面表決）	児童クラブ建替えについて
5月	第1回理事会（書面表決） 令和2年度通常総会（書面表決）	令和元年事業報告及び会計報告
9月	臨時理事会（書面表決） 臨時理事会（書面表決）	児童クラブ建替え入札資格について 児童クラブ建替え入札結果及び施工業者の決定
3月27日	第三者委員会 臨時理事会	児童クラブ建替え実績報告

2. 理事・委員 委嘱

渡邊理事長	かすみがうら市社会福祉協議会 理事
	かすみがうら市地域自立支援協議会 委員
	かすみがうら市国民保護協議会 委員
	かすみがうら市防災会議 委員
	かすみがうら市都市計画審議会 委員
根目沢施設長	かすみがうら市社会福祉協議会 評議員
	かすみがうら市地域自立支援協議会 会長
	かすみがうら市手をつなぐ育成会 会長
	いばらき障害者生活サポート協会 副理事長

3. その他

(1) 寄付等

- ・児童クラブ オゾン発生装置（かすみがうら市）
- ・ハーモニー親の会様 10,000円
- ・株）ジュピター様 おやつ用菓子 多数
(7/・21・8/31・11/16・1/14・3/8)
- ・その他、利用者のご家族様や職員からトイレトペーパー、タオル、アイソレーションガウン、文房具等多数を寄付していただきました。

(2) 日本財団自動販売機

（日本財団へ寄付）

令和2年度寄付金 13,140円（1本につき10円が寄付金となります）